

論 文

抗結核剤による副作用症状緩和としての ヨモギ入浴の効果

小山 誠子・上出富佐子・湊谷 陽子
荻田るり子・出島このみ
(金沢市立病院)

The Palliative Effect of Mugwort Bath for the Aduerse Reactions with Antitubercular Drugs

Seiko Koyama, Fusako Kamide, Youko Minatoya,
Ruriko Ogita and Konomi Dejima
Kanazawa Municipal Hospital

要 旨

抗結核剤による副作用は、実態調査の結果からも搔痒感・神経症状の発現頻度は高く、またその対策には有効なもの報告はない。

そこで、西村等・小村等の報告を参考にヨモギの薬効に着目し、抗結核剤による痒みと神経症状の緩和を目的に、ヨモギ入浴の効果について研究した。その結果、以下の結果を得た。

1. ヨモギ入浴は、抗結核剤の副作用による神経症状(痒み・しびれ・こわばり)には明らかな効果はなかったが、痒みには効果があった。
2. アンケート調査から、単湯よりヨモギ入浴の方が、快感反応・保温効果・入眠効果があった。

はじめに

結核の化学療法は併用療法を基本とし、それは薬剤耐性の出現防止と薬剤の相互作用を目的としている¹⁾。しかし、この併用療法により薬剤の副作用は増強してきている。当院においても抗結核剤治療を受けた患者59名を対象に、1年間副作用の症状を観察したところ文献による副作用の発現頻度が低いにもかかわらず、実際には搔痒感55.9%、神経症状42.2%と高値を示した。しかし明らかな副作用症状と診断される例が少なく治療は続けられ、またその対策には有効なもの報告はなく、患者は随判症状として安眠、精神的安楽が妨げられるなどがあり、入院生活における精神的安定が得られにくいという問題があげられる。

そこで私たちは、搔痒感や神経症状を訴える患者に対し、西村等²⁾、小林等³⁾の報告を参考に、ヨモギには起痒物質であるヒスタミンの毛細管透過性を抑制する作用があること、また保温・消炎などの薬理作用があることに着目しその薬効を入浴に応用してみることにした。結果痒み・神経症状が緩和され、

精神的安楽が図れたのでここに報告する。

I. 操作上の定義

(抗結核)の副作用：抗結核剤投与後に発現した患者に有害な作用のすべてをいう。

(自覚的な訴えをも含む。)

II. 研究対象及び方法

1. 対象

結核治療を受けている入院患者のうち平成6年6月～平成6年7月の期間に、薬の副作用(痒み、四肢の痛み、しびれ、こわばり)の症状を訴えた患者6名(男性2名・女性4名)。(表1参照)

2. 方法

方法については、西村等⁴⁾の報告を参考に最も効果を得たとされる下記の条件設定のもとでヨモギ入浴を実施した。

- 1) 市販の乾燥ヨモギ50gを2ℓの水で20分間煮つめる。

浴湯360ℓにヨモギ液2ℓを入れ、湯の温度を

表1 症例の紹介

| 症 例 | 年齢 | 性別 | 抗結核剤の種類 | 内服期間 | 副作用の発現時期 | 副作用の内容 | その他 |
|------|----|----|--|-------|----------|----------------|-------------|
| ①T.S | 59 | 女性 | イスコチン エタンブトール | 3ヶ月 | 10日目 | 痒み・痛み・しびれ・こわばり | |
| ②M.A | 72 | 女性 | イスコチン | 3ヶ月 | 7日目 | 痒み・しびれ・こわばり | |
| ③K.T | 76 | 女性 | イスコチン リファンピシン エタンブトール | 4ヶ月 | 11日目 | 痒み・痛み・しびれ・こわばり | |
| ④I.F | 75 | 女性 | イスコチン リファンピシン ストレプトマイシン | 6ヶ月 | 3日目 | 痒み・痛み・しびれ・こわばり | ステロイド 投与 |
| ⑤M.T | 77 | 男性 | イスコチン リファンピシン ストレプトマイシン | 4.5ヶ月 | 20日目 | 痒み・痛み・しびれ・こわばり | |
| ⑥H.M | 76 | 男性 | イスコチン リファンピシン ストレプトマイシン エタンブトール | 5ヶ月 | 7日目 | 痒み・痛み・しびれ・こわばり | |

表2 痒みの尺度表

| 項 目 | 点数 | 状 態 |
|------|----|-----------------------------------|
| 睡 眠 | 0 | ・眠れる。 |
| | 1 | ・目覚めることはあるが、一応眠れる。 |
| | 2 | ・目覚めることが多く、熟睡感が得られない。 |
| | 3 | ・殆ど眠れず断眠、起きている状態。 |
| 精神状態 | 0 | ・殆ど気にならない。 |
| | 1 | ・時々気になるが、忘れていることもある。 |
| | 2 | ・痒みが気になり、時にいらつくが、痒くことで気はおさまる。 |
| | 3 | ・痒みのため殆どずっと物事に集中できず、掻いても気がおさまらない。 |
| 掻く度合 | 0 | ・殆ど掻かない。 |
| | 1 | ・たまに部分的に軽く掻く。 |
| | 2 | ・無意識のうち（話しながら、テレビを見ながら）つつい掻く。 |
| | 3 | ・痒いと言いつつ全身掻いても治まらず、ますます激しく掻きむしる。 |
| 搔 痒 | 0 | ・搔傷なし。 |
| | 1 | ・部分的に搔傷がみられる。 |
| | 2 | ・全身に搔傷がみられるが、出血癬はなし。 |
| | 3 | ・全身に搔傷がみられ、出血癬がある。 |

38～40℃に設定する。(温度は痒患を持つ人を対象としたため、体力を過度に消耗させない様に上記に設定)

2) 入浴方法

入浴時間は患者のニーズに合わせ1～2分間とし、使用する石けんは皮膚への刺激が一番少ないと思われるベビー石けんとする。入浴回数は週3回とする。

3) 効果判定の方法

入浴前後の症状レベルの変化を次の3つの視点から判定する。

① 痒みの判定

痒みの尺度を表わす「尺度表」⁵⁾(表2参照)を用い、入浴前と入睡効果を見るため翌日の数値(4項目の合計点を痒みの点数とする)を比較する。

表3 痛みの判定基準（5段階表）

| 痛みのレベル | 痛みの程度 | 患者の状態及び治療内容 |
|--------|---------------|---|
| 5 | かなり痛い | 消炎鎮痛剤の注射と1日2回の坐薬を使っている。痛みはすっきりとれない。湿布併用。 |
| 4 | 痛い | 日中は何とか我慢出来るが夜坐薬を入れないと眠れない。湿布併用。 |
| 3 | 時々痛い | 夜は何とか眠れる。痛みのある時に坐薬使用。 |
| 2 | 気にならない程度の痛み | 動けば少し痛い。痛みの部位に湿布使用。 |
| 1 | 痛くない | |
| その他の症状 | 四肢のしびれのレベル（ ） | 5. かなりしびれる（こわばる） 4. しびれる 3. 時々しびれる 2. 気にならない程度 1. しびれない（こわばらない） |
| | 四肢のしびれのレベル（ ） | |

② 四肢の痛み・しびれ・こわばりの判定

小林等の報告を参考に、症状、程度を表わす「5段階表」（表3参照）を用い、入浴前と入浴後（翌日）の数値を、痛みの5段階レベルの数値から症状の減少程度をみる。

③ 単湯とヨモギ入浴の違いについてアンケート調査を行う。

4) 患者への事前説明を行う。

説明内容は、長期入院生活に少しでも変化をもたせるためにヨモギ入浴を施行してみると説明し、入浴許可のある患者全員に入浴してもらう。研究対象である患者6名には検温時観察項目にもとづき症状を聞き、その変化を調査する。

III. 結 果

1. 症状に対するヨモギ入浴効果

表4のとおり痒みに対し効果があり、全回数35回のうち、18回（51.4%）に効果があった。変化なしは17回（48.6%）で、悪化した例はなかった。

痛みについては、ヨモギ入浴前に症状のあった24回のうち5回（20.8%）に効果があり、しびれは17回のうち2回（10.8%）、こわばりは15回のうち3回（20.0%）に効果があった。

2. 入浴回数はヨモギ入浴効果

入浴回数に伴った症状のレベル低下はみられず、ヨモギ入浴の積み重ねが、症状緩和の効果につながったとは言えない。（表4参照）

3. 症状の程度とヨモギ入浴効果

症状のレベルが低い例と高い例についてヨモギ入浴の効果を比較すると、数値上その変化は一律ではない。（表4参照）

4. ヨモギ入浴についての評価

6例において単湯とヨモギ入浴の比較を目的にアンケート調査した結果、全例がヨモギ入浴の方が気持ちがいい・身体が暖まると答え、3例がよく眠れたと答えた。また、痒みが楽になったが3例、痛みが楽になったが1例、変わらないが2例だった。

IV. 考 察

結核患者は、治療を受け日常生活を整えることにより、回復過程をたどる。従って特別な方法ではなく、日常生活の中に苦痛緩和の方法がないかと考え、ヨモギ入浴を考案した。抗結核剤の副作用である痒みや痛み、しびれ、こわばりは、その機序が明らかではなく、その対策も著しい効果のものはない。

一般にヨモギの薬理効果⁶⁾は、はじめにでも述べたように①起痒物質であるヒスタミンがもつ毛細血管の透過性を高める働きを抑制する。②ヨモギに含まれる蛋白・脂肪・ビタミンにより皮膚の乾燥を防ぎ、皮脂の減少による痒みを予防する。③血流改善作用④鎮痛・鎮静であり、今回の結果からは、痛みやしびれ・こわばりには著明な効果はなく、痒みにより効果がある傾向が示され、ヨモギ入浴の痒みについての効果があると言える。

しかし、その効果は一様ではなく、入浴回数・症状の程度による効果は一定しておらず痒みの項目別

表4 ヨモギ入浴後の痒みと神経症状の変化

1) 痒み

| 入浴回数 | | | 1週 | | 2週 | | 3週 | | 4週 | |
|------|----|---|-----|---|-----|---|-----|---|------|---|
| | 初回 | | 3回目 | | 6回目 | | 9回目 | | 11回目 | |
| | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| ① | 4 | 1 | 2 | 0 | 退 | 院 | | | | |
| ② | 0 | 0 | 3 | 1 | 退 | 院 | | | | |
| ③ | 4 | 2 | 0 | 0 | 退 | 院 | | | | |
| ④ | 7 | 7 | 5 | 0 | 1 | 0 | 3 | 3 | 3 | 1 |
| ⑤ | 4 | 3 | 5 | 3 | 8 | 7 | 退 | 院 | | |
| ⑥ | 3 | 3 | 2 | 0 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 |

2) 痛み

| 入浴回数 | | | 1週 | | 2週 | | 3週 | | 4週 | |
|------|----|---|-----|---|-----|---|-----|---|------|---|
| | 初回 | | 3回目 | | 6回目 | | 9回目 | | 11回目 | |
| | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| ① | 1 | 1 | 2 | 2 | 退 | 院 | | | | |
| ② | 3 | 3 | 3 | 3 | 退 | 院 | | | | |
| ③ | 2 | 2 | 2 | 2 | 退 | 院 | | | | |
| ④ | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 4 | 5 | 5 | 3 | 4 |
| ⑤ | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 退 | 院 | | |
| ⑥ | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

3) しびれ

| 入浴回数 | | | 1週 | | 2週 | | 3週 | | 4週 | |
|------|----|---|-----|---|-----|---|-----|---|------|---|
| | 初回 | | 3回目 | | 6回目 | | 9回目 | | 11回目 | |
| | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| ① | 1 | 1 | 2 | 2 | 退 | 院 | | | | |
| ② | 3 | 3 | 3 | 3 | 退 | 院 | | | | |
| ③ | 3 | 2 | 1 | 1 | 退 | 院 | | | | |
| ④ | 1 | 1 | 4 | 3 | 1 | 1 | 4 | 4 | 1 | 1 |
| ⑤ | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 退 | 院 | | |
| ⑥ | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

4) こわばり

| 入浴回数 | | | 1週 | | 2週 | | 3週 | | 4週 | |
|------|----|---|-----|---|-----|---|-----|---|------|---|
| | 初回 | | 3回目 | | 6回目 | | 9回目 | | 11回目 | |
| | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| ① | 1 | 1 | 2 | 2 | 退 | 院 | | | | |
| ② | 2 | 3 | 2 | 2 | 退 | 院 | | | | |
| ③ | 1 | 1 | 1 | 1 | 退 | 院 | | | | |
| ④ | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 |
| ⑤ | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 退 | 院 | | |
| ⑥ | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

注) 表中の数値は点数

にみても、個人差があり、ヨモギによる効果を方向づけることはできない。また、全く変化がないことがあることも注目を要する。

アンケート結果から、身体が暖まる・気持ちが良い・よく眠れたと単湯に比べヨモギ入浴の方が快感反応・保温効果・入眠効果が高いと考える。また痒みや神経症状についても、単湯よりヨモギ入浴の方が軽減した。

今後、ヨモギ入浴を継続していく時は、①ヨモギ液の濃度②入浴方法③評価基準④ヨモギの購入費用などの問題があり、検討しなければならない。

V. まとめ

抗結核剤治療の副作用の緩和を目的に、ヨモギの薬理作用からその入浴効果に着目し、痒みと神経症状の緩和のために一工夫を行った結果、次のことが得られた。

1. ヨモギ入浴は、抗結核剤の副作用による神経症状(痛み・しびれ・こわばり)には明らかな効果はなかったが、痒みには効果があった。
2. アンケート調査から、単湯よりヨモギ入浴の方が、快感反応・保温効果・入眠効果があった。

今回6例においてヨモギ入浴の効果はみられたが、症例が少なかつたため、今後ヨモギ入浴に関する問

題点を検討し、症例を積み重ねていきたい。

引用文献

- 1) 清水直容他：薬の副作用，内科，64(4)，604-607，613-619，678-683，1989
- 2) 西村咲子他：掻痒感緩和の一工夫—ヨモギの薬理を清拭に応用して— 第12回日本看護学会集録(看護総合)，88-90，1982
- 3) 小林由美子他：温熱療法による鎮痛効果—ヨモギ浴を試みての一考察—，第19回日本看護学会集録(成人看護)，25-27，1988
- 4) 西村咲子他：掻痒感緩和の一工夫(第2報)—ヨモギケアを追試して—，第14回日本看護学会集録(看護総合)，407-410，1984
- 5) 白取 昭：Meguitagine (LM-209)による掻痒性皮膚疾患の治療効果，西日本皮膚，45(3)，470，1983
- 6) 本草正義：中訳大辞典，上海科学技術出版社，56，1978